

第5回 野洲駅周辺地区整備検討委員会 ～議事概要～

日時：平成23年12月15日（木）10：00～12：00

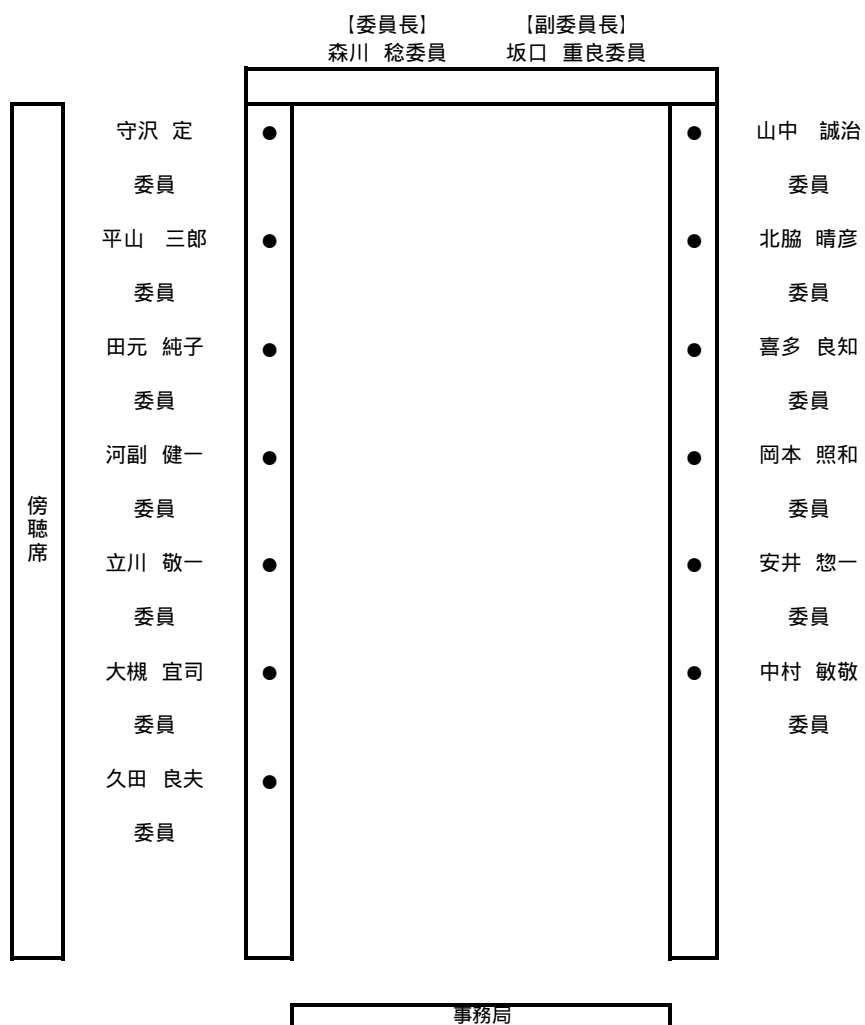
場所：野洲市市民活動支援センター ホール

■議事次第

1.開会	
2.あいさつ	
3.議事	
3-1.野洲駅南口駅前広場整備について	1) 意見の整理と対応 2) 排水計画 3) 南口駅前広場 仮設ロータリー設計
3-2.野洲駅北口駅前広場整備について	1) 意見の整理と対応 2) 交通量調査結果 3) 野洲駅北口駅前広場の交通に対する問題点と課題の整理
4.その他	
5.閉会	

■参加者

	氏 名	所 属 等	備 考
委員	森川 稔	滋賀県立大学特任准教授	(委員長)
	坂口 重良	野洲市観光物産協会	(副委員長)
	山中 誠治	野洲学区自治連合会	
	守沢 定	北野学区自治連合会	
	大堀 義治	駅前自治会	欠席
	平山 三郎	駅前北自治会	
	山本 勇作	野洲市老人クラブ連合会	欠席
	河副 健一	野洲市障害者関係団体連絡協議会	
	田元 純子	野洲市女性団体連絡協議会	
	梅景 俊之	野洲市商工会	欠席
	喜多 良知	迷惑二輪・四輪をなくそう推進委員会	
	北脇 晴彦	一般社団法人 野洲市給与所得者の会	
	岡本 照和	守山警察署交通課	
	安井 惣一	滋賀県南部土木事務所道路計画課	
	又賀 重樹	西日本旅客鉄道株式会社	欠席
	立川 敬一	近江鉄道株式会社	
	大槻 宜司	滋賀バス株式会社	
	中村 敏敬	光タクシー株式会社	
	久田 良夫	近江タクシー株式会社	
	木下 善広	野洲小学校	欠席
事務局	野洲市都市建設部都市計画課		
	株式会社エイト日本技術開発		



図．第5回野洲駅周辺地区整備検討委員会 座席表



図．委員会風景写真

■ 議事概要

委員による意見交換（意見の整理と対応）	
・個人的には提案どおりで良いと思っているが、念のため専門のデザイナーに相対的にイメージを作ってもらって意見をもらう、あるいは景観委員会に提案して、意見をもらってはどうか。	（委員）
・景観委員会の委員長には、事前にヒアリングをしており、シェルターの屋根は白で良いと意見をもらっている。委員長の実績から、白で問題ないし、維持もしやすく成功しているとのことである。	（事務局）
・本案で決定しないで、施工時に確認を行い、修正もすることも考えるということで了解する。	（委員）
・野洲市のイメージを描いて行きたいという事も含め、最終的にシェルターの色については、白色としたが施工時に再度判断する ・インターロッキング舗装の色も、ブラウン系を基本とし、濃淡を組み合わせることについては、施工時に調整したい。	（事務局）
・シェルターの車道側については、2.5mの高さで前に張り出すようになっており、バスの停車時に事故を起こす可能性があるため、歩道と停車位置とのライン等考えてもらいたい。	（委員）
・駅舎側のシェルターは全て4.5mの高さにし、車道側の張り出しについては建築限界である4.5mの高さとしている。その他については、2.5mの高さを基本としている。	（事務局）
・タクシーまたは自家用障がい者駐車場の部分の張り出しは、どの程度になるのか。	（委員）
・歩道から車道への張り出しは、1.5m位を考えている。	（事務局）
・現在の計画だと雨の時、運転席から運転者の移動ができないため、工夫をお願いしたい。お客様の荷物を運転者がトランクに入れる事が多くなっているため考慮をお願いしたい。	（委員）
・助手席側の乗降を考えており、道路側まで覆うとなるとコスト的に難しい。ただし、検討課題とさせてもらう。	（事務局）
・舗装材を単色とするのか、他の色も混ぜるのかについては、いつ頃どのような方法で決定するのか。	（委員長）
・委員長、副委員長を交えて決定したいと考えている。	（事務局）
・最終的にどこかの場で、パターン図を提示し承認を得た方が良いと思う。	（委員長）

（次項へ続く）

委員による意見交換（意見の整理と対応）	
・ 今後の北口整備における委員会で、確認をもらう。	（事務局）
・ 低木のイメージが欲しい。10年後をイメージされていると思うが、植栽当初は低いのか。	（委員）
・ 当初からある程度の高さのある成木である。	（事務局）
・ 道路に近接することから20～30年後に巨木になった場合、台風時の倒木などの懸念がある。また、年間の維持管理費を考えるべきであり、高木なしで季節毎にプランターに花木を植えて部分的に置く方が良いのではないか。	（委員）
・ 台風時の倒木は気になるが、低木や花を美しく維持管理するのは大変難しい。高木を数本にしてシンプルな植栽にして欲しい。	（委員）
・ 緑量がほしいため、高木と花木両方を考えてもらいたい。また、現在の花壇は地元住民で管理しているが管理が大変である。	（委員）
・ ケヤキは剪定により、図のようなイメージにするのではないかと思う。落葉樹のため、落ち葉の量や集積場所等の清掃管理についても検討をお願いしたい。	（委員）
・ ケヤキの高さはどの程度になるのか。写真から見ると、横に張り出してきそうだが、バスが接触しないかが気になる。	（委員）
・ バスに接触しないよう管理する。	（事務局）
・ 車道とロータリーに挟まれている所では、枝張の関係から株立にするのは危ない。	（委員長）
・ 株立の写真しかなかったもので、株立でないケヤキを植える考えである。	（事務局）
・ バスターミナル隣の部分も緑化駐車場に出来るという話があったかと思うが、イメージ図から消えている。構造上、設計上難しいからなのか、やらなくて良いという判断なのか。	（委員）
・ バスの重さに耐えうる製品がないため、バスのプールの中は舗装の色を変えるくらいしか出来ない。	（事務局）
・ バス横の自家用送迎の部分であれば、可能ではないのか。	（委員）
・ 観光バス、大型バスの送迎が入って来る可能性があるため、舗装としている。	（事務局）
・ 緑化については、今日だけで検討をするのは無理だと思われるので、次回も提示してもらえないか。	（委員長）

（次項へ続く）

委員による意見交換（意見の整理と対応）	
・方向性だけでも本日決定いただけないでしょうか。	（事務局）
・高木について反対ではなく、低木もあって良いのではないかという意見だったが、高木だけでやるという方向でよろしいでしょうか。	（委員長）
・低木は管理が難しいこと、出来る限りスッキリした空間が良いとの意見をもらったため、高木のみとさせてもらった。	（事務局）
・高木で良いと思います。土地と樹木の所有が異なると、清掃管理難しくなりため、土地の所有について確認をお願いします。	（委員）
・現在はロータリーまでが県道となっている。駅前広場を広げるため整備範囲は全て市所有となるため、樹木についても市の管理となります。	（事務局）
・モニュメントではなく、巨木をシンボルとするという意見があったが、今回の計画ではどの木がシンボルツリーとなるのか。	（委員長）
・剪定をして樹形を整えるということで、ケヤキがシンボルツリーになると考えている。	（事務局）
・今回、モニュメントは整備せず、アサヒの土地を含めてモニュメントらしい物を考えるという事だったと受け止めているが、市民としては設置の検討をお願いしたい。	（委員）
・北口も樹木のみとさせてもらっており、ロータリークラブ等からモニュメントを寄贈される可能性も高いことから、アサヒの土地でモニュメントを検討したいと考える。	（事務局）
・前回、時計が欲しいという意見があったがどうなったか。	（委員長）
・シェルターの下等、入れる場所を検討している。	（事務局）
・基本的に高木を植えるという事で、植栽緑化を考える方向でよろしいでしょうか。承認頂いたという事とします。	（委員長）

（次項へ続く）

委員による意見交換（排水計画・南口駅前広場 仮設ロータリーについて）	
・銀行周辺は、大雨の場合溢れる場所である。駅前の洪水を少しでも緩和出来るように、台風時や大雨時に地元で水門を操作している。出来ればロータリーからの主要な排水の幹線部分を線路側に入れる事はできないか。祇王井川が改修されれば減と思うが、検討をして欲しい。	（委員）
・駅前自治会への説明時に、グランブルー側に流水する事は避けて欲しいと聞いた。従来の排水の経路で流させて頂くことを基本とさせてもらいたいと考えている。 ・祇王井川は一級河川のため、県管理である。上流に設けてくれと依頼はしているが、県に対して新しい放水路を設けてくれという事は難しい。	（事務局）
・駅前の自治会としては、祇王井川が一番の難題であり、銀行の中にまで雨水が入って来る。住んでいる者が安心できる計画として欲しい。	（委員）
・駅前の冠水状況は認識している。対応策を今後、考えて行きたい。	（事務局）
・銀行利用のお客様駐車場は何処になるのか。	（委員）
・銀行とは調整済みであり、現在の駐車場を直進する部分に整備させてもらう。	（事務局）
・浸透型浸透枳は、何処に何箇所入るのか。枳の容積、実際にどの程度効果があるのか。祇王井川へ流れる水の量も変わってくるが、その辺りの説明をお願いしたい。	（委員）
・図面内にある緑の丸の所に浸透枳を配置していく。枳からオーバーフローする水が祇王井川に流れる。枳の容積は、600×600、深さが1m位である。	（事務局）
・平常時は水が溜まっていないということか。また、平常時は地下水がここまで上って来ていないということか。	（委員）
・地下水は集水枳よりも下にある。	（事務局）
・仮設のロータリーについて、障がい者車輛を停めて昇降できる所を駅舎の近くにして欲しい。併せて雨よけの屋根を設けられないか検討してほしい。	（委員）
・工事中も既設の障がい者用駐車場を利用できるようにしたいと考えている。	（事務局）
・工事期間はいつからいつ頃までなのか。	（委員）
・仮設工事は3月頃から取りかかり、4月～5月がメインとなる。6月以降から仮設ロータリーを使用してもらう。約2年間仮設ロータリーを使ってもらい、その間に本設ロータリーの工事を行う。	（事務局）

（次項へ続く）

委員による意見交換（排水計画・南口駅前広場 仮設ロータリーについて）	
・駅前商店に居酒屋が出来てきているが、ケバケバした色や看板を容認するのか。	（委員）
・景観委員会で、景観計画、景観条例等の議論してもらっている。重点地区を定めて、色合いの制限等も進めて行きたいと考えている。駅前広場は重点地区に定められる可能性が高い。	（事務局）
・景観委員会で、しっかりやってもらいたい。	（委員長）

委員による意見交換（北口について）	
・調査は夜も実施したのか。	（委員）
・歩行者と車の台数については、朝の２時間。アンケートについては７時～２０時、車の駐車状況については、朝の２時間に加え、１６時～２０時まで実施した。	（事務局）
・夜は迎えの車が白木屋周辺に停車し、バス交通の支障になっている。北口の形は守山駅の西口と良く似ており、バスとタクシーの駐車場所があって回る感じである。守山駅の場合は、センターの歩道の所に屋根があり、直近に一般車の駐車場所が１０台位ある。北口は緑地が真ん中にあるので、どうにかならないかと思います。	（委員）
・白木屋周辺の夕方の状況については、把握している。今回の調査結果を分析し、対策を提案して行きたい。	（事務局）
・南口は１０年間位検討しているが、北口はされていない。白木屋周辺の駐車状況の改善が重要である。将来の予測がポイントで、来年再来年となると、倍位になるのではないかな。駐車場エリアを何処に置くかが重要である。	（委員）
・次回の委員会の課題とする。	（事務局）

委員による意見交換（その他について）	
・次回には、南口の概算工事費と資金調達について提示してもらいたい。市民にPRすべきである。	（委員）

■今後の予定

・南口駅前広場の舗装における色合いについて提示する。シェルターについては、全面新設とし、屋根材は膜素材、白色とする。
・北口駅前広場については、調査結果に基づいて計画案を用意し、また委員からの意見を検討し次回提案する。
・次回委員会の開催予定は２月下旬頃として、日程調整する。

